

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-287200(P2003-287200A)

【公開日】平成15年10月10日(2003.10.10)

【出願番号】特願2002-89157(P2002-89157)

【国際特許分類第7版】

F 17 D 1/08

// C 07 C 69/54

【F I】

F 17 D 1/08

C 07 C 69/54 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

管端部に連結部が備えられた複数の配管部材が、その連結部で直列に連結され、易重合性物質を含む流体を移送する10m以上の易重合性物質用配管設備において、連結部の平均間隔が1~8mとされていることを特徴とする易重合性物質用配管設備。

【請求項2】

前記配管部材として曲がり管が用いられた場合、この曲がり管は、曲がりの頂点から2m以内の位置に連結部が備えられたものであることを特徴とする請求項1に記載の易重合性物質用配管設備。

【請求項3】

前記配管部材として少なくとも2本の直管が用いられ、これらの直管が連結された場合、これら連結された直管の傾斜が1/300~1/10とされていることを特徴とする請求項1または2に記載の易重合性物質用配管設備。

【請求項4】

配管の内部に易重合性物質を含む流体を通じて易重合性物質を移送する方法において、前記配管として請求項1~3のいずれかに記載の易重合性物質用配管設備を用いることを特徴とする方法。